

第1回市民ワークショップの報告

平成27年8月27日実施

参加人員 35人

ホール

- ・音響設備の充実
- ・しっかりした楽屋
- ・メンテナンスに配慮
- ・音楽ホールにしてほしい（1000席、固定）
- ・多目的に使えるホールがよい
- ・トイレを使いやすく
- ・入り口がわかりやすい事務室
- ・搬入、搬出に時間がかからない構造
- ・障害者が利用しやすい
- ・ホールは防災施設の中心となるよう可動式の椅子（機能的に他に使える）
- ・避難スペース拡充
- ・ホールロビーは人の集まる場として空間を広く展示できるようにする
- ・ホール横の会議室は出演者控室にもできる、給湯室、便所を近くに
- ・舞台鑑賞スペース

図書館

- ・子どものためのスペースの確保、子どもが遊ぶことのできる部屋
- ・たくさんの蔵書が手にとれるように
- ・ヤング、アダルトコーナー、児童、大人コーナーをしっかりと分けてスペースをとってほしい
- ・図書館に学校支援コーナーを
- ・図書館＋児童館（米子市の児童館のような施設）
- ・図書館の充実（見るだけでなく、作ったり出来る場があればよい。）
- ・図書の収納スペース
- ・図書館内にカフェコーナー
- ・図書館の駐車場雨に濡れないもの
- ・図書館ベビーカーで入れるもの

竜ヶ山

- ・合宿所をつくる（更衣室、シャワー施設）
- ・マリンスポーツ大会ができるようトイレの拡充を
- ・陸上競技場本部席の整備と放送設備
- ・全天候、屋内型施設
- ・3種公認
- ・屋内テニスコート
- ・避難施設
- ・屋根付避難施設、駐車場（車の乗り入れが可能なように）
- ・図書分館
- ・多目的施設
- ・第2体育館程度の大きさの建物が必要（防災の避難所として使える）
- ・屋内でGGが出来る大きさを望む（屋根付広場）

駐車場の整備

- ・平日でも催事可能に
- ・駐車場の確保

複合施設に関して

- ・高齢者が気軽に立ち寄れる場所（サロンのな）
- ・社協が入れる機能にしてもらう
- ・部屋の壁も可動式でいろいろな使い方ができる（会議室兼楽屋）
- ・会議室、廊下が展示場にもできる
- ・市役所、図書館、会議室、ホール入り口が廊下でつながっている
- ・複合施設とすれば365日人が交流できる（利用率も高い）
- ・人が定常的にあつまる
- ・ランニングコスト
- ・世代を問わず交流できる場に
- ・メンテナンスも考えて建物を建ててほしい
- ・ユニバーサルデザインで階段エレベーター
- ・バリアフリー
- ・市民会館の美術展示スペース確保
- ・防災倉庫